

報告者 主査 梶山 雅生

「北海道センタービル」グランドオープンセレモニー

8月27日、道サハリン事務所が入居する北海道センタービルのグランドオープンセレモニーが行われた。2年前にオープンしていたが、日本国総領事館の入居も正式に決定し100%に近い入居率に達したためグランドオープンとして開催されたもの。

セレモニーには入居企業の現地代表者をはじめ、サハリン州政府副首相、ユジノサハリンスク市長などの要人も参加した。その他、道内出身の音楽家などによるジャズコンサートも行われた。

同ビルは2015年11月に、岩倉建設㈱などの道内企業と現地企業による合弁会社 HODEC により建設された6階建てのビルで、地元のロシア企業の他、前述した当事務所や総領事館に加え三井物産や北海道銀行事務所等も入居している。

今後、サハリンにおいて同ビルが北海道とサハリン、日本とロシアのビジネスの象徴ともいえる存在になることを期待したい。



挨拶する岩倉建設宮崎社長



会場風景



ジャズコンサート

ユジノサハリンスク市内のインフラ整備について

現在、ユジノサハリンスク市の至る所で、道路及び歩道、給水パイプ等の補修工事（報道では「前例のない程の集中的な工事」と紹介されている）が行われているので現状を報告する。

市民生活の質の向上に向けて、交通インフラの整備は重要項目の1つであることから、2017年度の目標として計30の通り、総距離にして18キロの道路整備が計画されている。また道路整備工事に加え、歩道及び縁石、バスの待合所、給水パイプ、公園などの施設の整備も同時進行で行われている。

急激に進むインフラ整備により、様々な弊害も生まれている。特に、工事のための道路封鎖による交通渋滞は市民の円滑な移動を妨げており、また、工事現場からの砂埃が街のあちこちで舞っている状態である。当面は一部不便な状況が続きそうである。

これまでも段階的に街並みは整備されてきているが、本年の工事完了で一層の景観向上と良好な交通事情となることを期待したい。



道路工事現場



歩道整備現場



給水パイプの修繕現場